

特定非営利活動法人



ネパール・ミカノ会

平成16年夏号 NO.24 9.18発行

NPO法人 ネパール・ミカノ会 事務局 194-0035 町田市忠生2-5-36 tel 042-791-0602

厳しい状況の中、調査出発

NPO法人ネパール・ミカノ会
理事長 齋藤 謹也

ミカノ会は、ちょっと峠にさしかかったようです。少しあえぎながら峠を目指して登らなければなりません。

イラクの状況はイスラム圏の話として全く他人事のように思っていたのが、ネパール人12名の拉致という形となり、しかも全員殺害。それに対してネパール国内では暴動が起き、イスラム寺院が襲われ、派遣会社のビルをめぐらせた騒ぎをテレビで見ていると、何もできぬだけに実に胸が痛みます。この9月初旬の騒動があとに引きづらなければよいのだが、と念じています。

政治的には全く中立の立場を保ち、教育支援のみ、特に子どもから青年までの幸せを念じているミカノ会です。小国にあつて宗教的な違いを乗り越え仲良く共存して生活していた国ということ、ヒンズー教イスラム教との激しい抗争がある他の国々とは異なることをネパールの良さとしていただだけに、残念です。一方で、あの程度でおさまっているのは穏健なネパール人気質であればこそ、という声もありますので、ネパール好きの我々としては、この声を抛り所としていきましょう。

今秋11月初旬、加藤副理事長と青沼理事の二名が中間調査に出かけます。又、ソロプチミスト町田 さつきの山口会長他3名と私が、建築着手予定のルンビニ・シリ・マズワニ高校新築状況をはじめ、現地の視察に訪れます。この厳しい状況の中、周囲からは「大丈夫ですか」の心配の声が高く聞こえる中での視察です。よほどの事が無い限り中止することなく行ってきたいと思います。又、行く予定の方々からも「延期」の声がないのを心強く思います。現地責任者、ヌルブ・ラマさんをはじめ、ルンビニで建設にあたる方々が頑張ってくれています。マオイストの活動も大変心配されますが、それだけに現地事情を感じてきたいと思うのです。幸い、マオイストも外国人旅行者には危害を加えないと表明しています。それに私達が主要な活動の場としているのは「釈尊生誕地」です。佛教は基本的には相手への信頼を柱とし、楽観主義の立場というように私には思えます。般若心経には「菩提薩 依般若波羅蜜多故 心無礙 無礙故 無有恐怖 遠離一切倒夢想 究竟涅槃」とあります。とらわれなき知恵を抛り所にしていれば、心に引っかかりがありません。心に束縛がないから恐怖心と不安がないのです。従って、真理に対するさかさまな空想観念を離れて、静かな悟りを完成しているのです、といった意味のようです。柔軟に賢明に目前の事態に対処しながら、とらわれの心を離れて「知恵」を磨く修行の場として、ルンビニに行ってまいりましょう。他の経典は、佛が無畏（おそれのない安心）を施す者としめています。しっかりやりたいものです。

国内の募金活動（バザー他）も真っ盛りのこの秋です。こちらは会員の頑張りです。実際に順調に動いております。ありがとうございます。

まあ、粛々とやっていきましょう。

ゴビンダさん夫妻に女の子誕生 その名は「ミカ」

『ご夫婦の出会いがミカの会だった事、「ミカ」とはネパール語で「目」を意味することから、何事も自分の目で、正しい目で見て欲しいとの願いから「みか」と名付けました。漢字は「弥花」と書きます。』 益々のゴビンダさんご家族に幸せをお祈りします。

初めての二階建て

大谷 安宏

『マズワニ高校を二階建てにすることは大丈夫ですが、ルンビニで村人と相談の上メールします。どのようなデザインにしたらよいか、アイデアをお願いします。』

『ルンビニへ行く準備をしようと思っています。マズワニ高校の図面のアイデアをお願いします。そちらのアイデアを現地に持って行き、村人とも話し合っ決めてたいと思います。』



最近、途絶えがちなラマさんからたて続けのメールである。理事会決定の建設仕様、付帯設備、予算額などは文章でメールを入れており、従来であれば98年から建設した9校26教室7職員室の実績から容易なことであるが、建設スペースを配慮した初めての二階建ての建設となるとさすがに今までとは感じが違うようだ。

植草さんからの支援金をもとに、昨年の建設支援事業は会として始めて図書館を備えたコミュニティーセンターをマズワニ村役場に計画したが、ユネスコによる研修センターの建設と合せて、マオイストによる情勢不安を配慮して計画を断念せざるを得なかった。

シリ・マズワニ小学校の建設に続き、地域からの熱心な要請もあり、郵政事業庁の給付を受けてのシリ・マズワニ中学校の新設は、毎年就学率が上がり、特に女子の就学率の向上は地域での教育に関する関心の高まりの結果であり、いずれは高校の新設の必要性も考えていたが、今年度の教育支援の旅での調査の結果を踏まえ、コミュニティーセンターの建設資金を新設高校の建設に変更することを帰国後の理事会で決定した。

5月、ソロプチミスト町田-さつきさんの図書館建設資金給付先候補となり、審議も順調に進み、幸いに給付の決定を得ることができた。

建設予定地のシリ・マズワニ小学校とシリ・マズワニ中学校の間には大きなマンゴーの樹が生い茂る環境を残しての建設スペースは限られることから、一階は従来の教室より広く、机・椅子を備えた二教室と機能を配慮した職員室の新設の高校とし、二階を図書保管室、閲覧室兼会議室、屋上閲覧スペースのミカの会にとって初めての二階建ての建設となる。このことで図書館の管理も高校に委託することも容易になる。

地域での最上級校にふさわしく外装タイル仕上げ、ベランダ付、室内照明、そして屋上にスピーカー付の時計塔を備えたイメージ図を会員で纏め上げた。

例年より永かった雨期も明け、ラマさんはルンビニ入りしてイメージ図をもとに現地の人々と熱心な協議をしている頃だと思う。現地の意見も十分に盛り込んだ素晴らしい仕様、デザインの二階建ての新設高校・図書館は10月には基礎工事が始まり、来年の教育支援の旅の際には真新しいミカの会初の二階建ての建物の完成が見込まれる。

ルンビニの平原に始業のチャイムが広がり、高校生が誇らしく通学し、学生はもとより地域の人々が当たり前のように図書館に集う環境になることを期待したい。

この事業に対し絶大なご支援を頂いた植草さま、ソロプチミスト町田-さつきの皆様方に厚く御礼申し上げます。

「サムンドラ公演」

副理事長 今村 旭

去る、7月3日、築田寺において当会のチャリティーコンサートとしてネパールガンダルバ族の音楽、“サムンドラ”公演が行われた。

これは、グループを日本に招いた「石川ネパール協会」の今井史子さんと、「ネパールソングに親しむ会」の岡本有子さん等の協力を実現したものである。築田寺の野外ステージが会場であったことが数ある東京公演の中でも特に印象深いものとなったようです。彼らの後日の感想から“日本で町田が一番良かった”との言葉にあるように、宿舎を提供した斉藤理事長以下、青沼会員、和田会員、木幡会員などの親身になってのお世話の賜物であったと思います。

当日は参加者120名以上となり、とても盛会でした。夕方より開演前の食バザーでロールドッグを販売したり、彼らの収入の助けにこのことで、サランギやCD、ロゴ入りTシャツが売られ、ひと時賑やかに楽しみました。

当ミカの会が新しく購入した立派なテントのお披露目の日でもあり文字通りシンボルマークの“ミカ”がとても輝いていました。7時からの演奏で、急拵えの舞台であったのかかわらず、七夕飾り



をあしらい、篝火を焚き、お香の代わりに蚊取り線香という夏の夜にぴったりのとてもすばらしい情景でした。ネパールでは、ガンダルバ族のガイネとしてこうした音楽の演奏で生活をしている人々は低カーストとされ、必ずしも恵まれた環境に在るといえないものが現状だそうだが、どうして立派な音楽芸術家として、ブッダ氏を筆頭に5人のグループは見事な演奏を繰り広げてくれた。アンプを通さず生の音で、暗闇の中に築田寺の野外の森をバックに、タルチョが風に揺らいで竜王ヶ池の水面にユラユラと映り、ここは正に、町田でなく、東京でなく、

ポッカリとネパールの‘吟遊詩人達の夢の空間’を生み出していた。サラングや笛、マーダルのハーモニーが夜空に吸い込まれる様に響きわたり至福のひと時であった。

今回の日本公演を通し、彼らグループの演奏が聴くものに多くの感動をもたらした。自らの音楽家としての芸術性に目覚め、ネパールでの日常はともすれば、物売りの低い評価のうちに過ごさざるを得なかった様でしたが、今後はカトマンドゥに帰り、同じガイネの多数の仲間達とともに、より向上した演奏活動を展開したいとの彼らの良い変化を見るにつけ、有意義な日本での日々であったことと理解し、我々も喜ばしい限りでした。

さて、当会の本年度前半期の会務も順調に推移しており、ひろしま祈りの石財団、(株)あけぼの、国際ソロプチミスト町田-さつきなどから寄せられた基金を有効に活用し教育支援事業のさらなる、充実を目指したいと思います。ネパール国内情勢の安定を望みつつ、今後も全会員一致団結して活動に一層の努力をして参りたいと思います。

サムンドラの東京観光

和田 泰子

初めにサムンドラについて、少し説明します。ネパールにはカーストとして、音楽を世襲的な職業とするガンダルバ族という民族がいます。自分たちで作ったサラングという楽器を弾き、唄いながら家々をまわったり、広場や街角で演奏して生計を立てています。ネパールに行った方は、観光地でサラングを上手に弾きながら、商売している人々に出会ったことでしょう。ガンダルバが日本で公演することになり、結成したグループがサムンドラ(ネパール語・海)です。そのサムンドラのメンバー5人が石川公演を終えた後、“ネパールソングートに親しむ会”の力添えで東京公演を行い、7月1日~7日まで町田に滞在しました。西荻でのライブをかわきりに、保育園2箇所、レストラン3箇所、ネパール・ミカの会主催の築田寺、和光大学での演奏、それにサラングのレクチャーなど、連日のハードなスケジュールをすべて終え、5日は一日のんびりと、東京観光ということになりました。

川からの東京見物も風流ではと、サムンドラのメンバーそれに「ネパールソングートの会」の6名が、日の出棧橋から水上バスで浅草へ。サムセルさん、ブッダさん、ラムクリシュナさんは兄弟、あとのサヌカンチャさん、アルジュンさんも親戚とのことです。船乗り場の大きな七夕飾りに、皆ネパール語で書いた短冊を吊るしました。今も混沌としているネパールの平和を願ったのでしょうか？船上でブッダさんがサラングを弾き始めると、踊りの得意なサヌさんが踊りだし、乗りのいい売店のお姉さんも加わって、お祭りのよう。



仲見世では、ちゃんまげカツラをかぶったり、人形焼を食べたり、店をひやかしながら浅草寺へ。Sさんは境内で、悪い所に効くというお線香の煙を、みんなからおしりにくっつけられたり、おみくじで一人だけ凶がでて、半べそかいたり、。お参りした後みんなでお寿司を食べて、それから急遽、花やしきに行こうということになりました。

お化け屋敷ではサヌさんと私は入ってから出るまで、目をつむったまま、前の人のおしりにかじりついていました。子どもだましのようなジェットコースターでも、彼らにとっては初めての経験で、かなりの恐怖を味わったようです。ほんとにひとり泣いちゃったんですよ。汗をかいて花やしきを出ると、ラッキーなことに銭湯があり、ひと風呂浴びました。石鹸もシャンプーもない、古い古い銭湯でしたが、さっぱりしました。来日当初は恥ずかしくて入れない人もいたようですが、温泉や銭湯にも慣れたようです。風呂上りに、風にふかれて店の縁台で飲んだビールのおいしかったこと。サムンドラのメンバーも楽しい一日だったことと思います。7日、心から別れを惜しみながら石川県に戻っていきました。

今回は理事長、齋藤さんのご好意で、メンバー5人が築田寺のこもれび堂に1週間も滞在させていただきました。連日、あちこちで演奏活動がありましたから、5人揃って行動する上で、本当に助かりました。また、極暑が続いていた時で、汗だくの彼らにご自宅のシャワーを使わせて下さったり、毎日忙しくしていらっしゃる奥様が時には朝食の用意をして下さったり、本当に温かいおもてなしを受けました。東京で何が一番心に残ったかの質問に「多くの方々に沢山優しくしていただいたこと」と答えていました。築田寺と我が家が近いこともあって、何日も行動を共にしましたが、ハイな充実した1週間でした。見送った後、しばらくボーっと放心状態になりました。ネパールに帰っても日本公演大成功の喜びを胸に、プロのミュージシャンとして、誇りを持って活躍していくことを心から祈ります。

夏休みボランティアスクールの講師として参加

(ボランティアセンター主催)
掛川 和子

参加生徒 小学3年生～中学1年生 計25名

数団体が持ち時間2時間で、各自のボランティア活動を紹介します。

1. 会の結成から現在の活動まで、ざっと説明(松浦さん)
2. クイズ形式で、世界地図を指しながらネパールの紹介。(和田さん)
(例)ネパールは、アメリカ、アフリカ、アジア、どの大陸にあると思いますか?
エベレストを知っていますか? 等々
2.3名を除き、殆どの子が始めて耳にしたという表情。
3. スライドで学校や子ども達の生活を紹介。(大谷さん)
「エ、それが学校?」「何時間もかかって街まで買い物、物が腐っちゃうよ。」
「牛は労働に使われるの?(水牛だけよ)可愛そう。」「パソコン、電気あるの?」
家の周りに張られている牛の糞をみて
「せんべいかな?(大切な燃料よ)ヒューくさいよー!」
野外での勉強風景では、「雨が降ったらどうするの?(休みです)いいなー!」
思わず笑ってしまった。
以上のかんりのリアクション。このあたりから目が輝いてきたようです。
残り時間の少ない中、質問攻め。大谷さんは進行に苦労している様子。
4. 絵と寄せ書き。
5人ずつの班に分かれて一枚の画用紙に描かせる。(土田さん指導、補佐浜崎、掛川)
富士山、祭り風景、花火、様々な楽しい絵が画面一杯に完成。

たった1時間ほどの中でよくまとまったと思います。

これらを、我々がネパールの学校に届け、やがてあちらの子ども達からネパール語（ラマ氏翻訳、日本語付き）のハガキがこのこども達個々の家に届くような手はずになっています。

短時間でしたが、最初はネパールを全然知らなかったこども達でも、黒板に書かれた難しい「ナマステ」のネパール語をノートに写していたところを見ると、かなり興味を持ってくれたようです。

中学生あたりは、私達の住むアジアに、こんなに美しいけれど貧しい国があり、ボランティアを必要としている、、、、その程度は多分理解出来たかな、と思います。

そして数年後、「ミカの会に入会したいのですが、、、、」と若者が訪れる。

私達の期待するところです。

こんなふうに、少しでも両国の交流の架け橋になれば嬉しいですね。

栄通りフェスタに参加して

中野 千恵子

当日雨が降っていたので、中止と思っていたが、台風以外は決行するとのことで、あわててバンジャミを着てパンダ駐車場に向かいました。

会場ではすっかりテントも張られ、ステージも準備されていました。

我がミカの会のテントは初めてのバザー使用です。遠くからでも可愛らしいシンボルマークのおかげですぐに見付けることができます。

テントの中では民芸品、リサイクル品、ハッシュドポテト、冷たいウーロン茶の準備中。



10時バザー開始。しかしお客様がさっぱり現れません。そのうち雨は激しさを増し土砂降り。テントの中も雨が流れ込んでくるので、品物を濡れないように台や椅子の上に乗せたり大騒ぎ。急遽レジャー用の簡易テントも用意。会員の雨をしのぐ場所も無いほどでした。撤退する出店者も出てきました。



天は我を見捨てることはありませんでした。パレードの開始に合わせるように雨も止み、どこからともなく会場はお客様で溢れていました。

我がミカの会もラストスパート。閉店の5時間前になんとか用意した200個のハッシュドポテトも完売しました。

雨の中皆さん本当にご苦労さまでした。

ボランティアセンターバザー

松浦 陽子

5月29日(土)、ぽっぽ町田で開かれたボラセンバザーに初めて参加しました。今回のバザーは屋外でテントなしの青空バザーという条件でしたので前日からお天気がきがりでしたが、当日は“もう少し曇りがちな位が良いのに・・・”と思えるほどピカピカの上天気になりました。

又もう一つ気がかりだったのは、お手伝いのいつものメンバーがたまたま用事が重なり出られないと言う事で、搬入・搬出やら役割分担その他、諸々に人手が足りるだろうか等の不安がありました。理事長さんの配慮で保育園の保育士さん達が4人来てくれて、若さとパワーで元気に売り込みをしてくれましたので、活気があって場が盛り上がり、「昔のお姉さん、お兄さん??」が多いミカの会に良い刺激を与えてくれました。

そんな中、前回のさくらまつりから大分間が空き、リサイクル品も質の良い物が品薄でもあり、ここぽっぽ町田というバザー慣れした場所柄を考慮して価格をだいぶ安くしたのですが、やはりあまり安いと収入には繋がらないです。会員さんのいつもの手作り品や今回又安く仕入れてもらったトイレットペーパー、ティッシュペーパー、その他の目ぼしいリサイクル品から先に売れていきます。

お客さんもバザー慣れした人が多く安いものを更に値切って買って行く逞しさに内心ため息が出ますが、ぐっと抑えて“ネパールに学校を建てる為の資金にするので・・・”と説明し協力をお願いしたりと結構売る努力も必要です。まだ気候の良い時期なのでバザーもやり易くて良かったと思いましたが・・・

いつだったかこの場所で寒さと強風で午後早々にバザーの店じまいをした事がありました。そして終わってみて思う事はやはりバザーはテント有り食バザー有りが良いと言うことです。屋根があって食が有ると集客力がぐんと違います。次回は是非そういう条件を満たしてもらえたら・・・と思います。お手伝い頂いた皆様、本当にお疲れ様でした。

『これからのイベント』

横浜国際協力祭り	10月16(土)17日(日)	国際貿易センター
チャリティボウリング大会	10月20日(水)	千寿閣ボウリング場
相模原国際交流フェスティバル	10月24日(日)	淵野辺
職業能力開発総合大学校・学祭	10月30(土)31(日)	橋本よりバス
夢広場	11月13日(土)	ぽっぽ町田
チャリティコンサート	11月25日(木)	町田市民フォーラム

(チャリティコンサートについては後ほど詳しいチラシを郵送いたします。)

~~~~みなさま、ご参加、ご協力よろしくお願ひいたします。~~~~

## モティ マハルジャン氏からのお願い

モティさんのお母様が腎臓の病にかかり現在透析を受けています。  
ネパールでの治療費はとても高く、継続的な負担になるため、どうしても腎臓手術が必要とされています。インドでの手術は総額100万ルピー（約170万円）が必要です。  
ご家族で努力を続けていることは勿論ですが、約50万ルピーの費用が不足してしまいます。  
一日でも早く手術を受けさせたく、皆様のお力をお借りしたいと思います。  
ご支援頂ける方はミカの会事務局までご連絡下さい。  
ミカの会からも中間調査の際、理事長より寄付金を手渡しする予定です。



学校建設  
図書支援  
医療支援  
衣料支援



### あなたの支援を待っています

#### 第7回ネパール支援チャリティボウリング大会

2004年10月20日（水）

6時30分受付 7時30分スタート（要予約）

詳細はセンターまで

NPO 法人ネパール・ミカの会

### プレゼンテーション 完成

powerpointを使用して100枚のスライド約16分のプレゼンテーションが完成しました。

ネパールの紹介、会の過去の事業実績、組織などを分かりやすく紹介しております。これからプロジェクターを使用して講演会、イベントで活躍することと思います。

会の全ての事業を収録した内部記録用バージョンの製作も考慮しております。

近々に公開致します。お楽しみに！

尚、製作はミカの会パソコン教室の会員のボランティア作業によるものです。ご苦労さんの一言を掛けてあげて下さい。

今回のプレゼンテーションファイル、教育支援の旅スライドショーなどを1枚のCDに焼きまます。希望者はお申し出下さい。

#### 【編集後記】

ネパールの政情不安は解決に向かっているとは言えません。そんな中での学校建設が求められています。中間調査も11月に行われます。早く安定した政情に戻り、多くの国から観光客が訪れることを願います。

チャリティボウリング大会が開催されます。もう7回目を迎えます。継続のお陰で総額150万を越える資金を集めました。今回も100名を越す参加者がおります。感謝の意を表しましょう。 秋のバザーシーズン到来。ご自愛の程。 S.K